



Subaru

ニュース765

'21. 11. 1

男声合唱団

昴第 21回総会開催！今こそうたごえの力で明るい未来を！ 初心を思いだし、昴は元気に歌っていこう！

男声合唱団「昴」第21回総会が、10月23日（土）9：30～11：30、第13回コンサート「いのちの春よ！生きる喜びをうたおう！」(2021年4月23日開催予定)の実現に向けて、天王寺区民センター第2+3会議室で開催されました。昨年度に引き続き、長期のコロナ禍での休団者等欠席がありましたが、在籍者41名中、出席者23名で、総会は成立しました。

総会は例年は7月から8月にかけて開催していますが、コロナ感染拡大が一息つく10月開催へずれ込みました。また、コロナ感染防止のため、定員30+30=60名の広い会場を借り、換気のために、窓やドアを開放して実施されました。



議長に大島氏、書記に更家氏を選出し、団員全員に事前に配布された「男声合唱団昴 第21回総会議案書」に基づき総会議案の審議が進められました。

○冒頭、千秋昌弘団長より、総会開会にあたり、開会の挨拶がありました。

「今、コロナ感染の状況は、日本はようやく、少なくなってきたが、予断は許されない。世界はまだまだ増加傾向にあり、パンデミックは解決されていない。

このような状況の中で、待ちに待った総会が開催できて、力強く感じ、うれしく思います。

私は、「政治は変わる、変えられる」と信じています。一例として、70年前までは、日本の女性には参政権が無かった。今は女性は大活躍！

そして、今こそ、「うたごえは平和の力」という「昴」のスローガン。「平和を守って！」もう一つは「今こそいのちを大切に！」 こういう歌を広げてゆくというのは非常に大事な思います。

その昴が大変な状況に、コロナの中で、押しやられているところがあります。そこで、今回の総会で、みんなの力で、この昴を盛り上げてゆくという総会に是非していただければと思います。

生きることに展望を失った人に、うたごえの力で明るい未来を示しましょう。今こそ、それぞれがうたごえを始めた初心を思いだし、昴を始めた初心を思いだし、昴がその先頭に立ち、元気な姿を示していきましょう！昴の活動を盛り上げていきましょう！」と。

○まず、山本副団長より、「この1年を振り返って」のテーマで、昨年総会后(2020年9月)から現在までの昴の活動報告がありました。

- ・去年3月からコロナ感染のため、活動休止状況が始まり、今年10月になって、やっと音楽的な活動が本格的に再開できるようになりました。まだ、この先のどうなるか、見通せない状況ではありますが、今後も感染防止対策を続ける努力をして、しっかり歌っていきたい。
- ・昨年11月三谷さんが亡くなりました。一方、今年7月木越さんと丹下さんが入団されました。議事録の組織部報告にある通り、在籍41名。この1年間増減はありませんが、コロナの状況もあり、レッスンを自粛して欠席の団員も多く、現在20数名でのレッスンとなっている。
- ・この1年間での、パートレッスンは開催回数では64%の開催。声楽教室4教室で56%実施された。講師陣のご奮闘に感謝。
定例レッスンは20年3月から21年10月末で、71回が予定されたが、長い休止期間が続き、46.5%の実施率となり、また、実施形態でみれば、全員レッスンは月1回広い会議室を借りて、またねむかホールでは半数での参加レッスンしかできず、十分なレッスンが開催困難な状況にあった。
- ・厳しいコロナ禍でのレッスン休止・再開等の団員への連絡・報告は、団長・副団長・運営委員会の敏速な対応をメール等を通じて行い、団の団結に役立てる努力を行った。（「議案書」3p「別表 過去1年半にわたる対応」参照）
- ・コンサートに関しては運営委員会で、真剣な議論を繰り返し、再三の延期のもと、ようやく、22年4月23日（土）に開催することを決めた。どのような形で開催するか、テーマ・プログラム・チラシ作成等、訂正すべき点等、具体的な検討を早急に行いたい。
- ・「広島のうたごえ祭典」は21年12月3日～5日に延期・開催の予定で、具体的に進んでおり、昴は「合唱発表会 一般の部B」に参加が決まった。
- ・団内コンサートも延期を繰り返したが、実行委員の努力、ピアニスト等関係者の協力のもと、11月7日(日)に開催予定となった。

○引き続き、立川事務局長より、「2021年活動方針」の報告がありました。

- ・「うたごえを広げ、生きる力にしていく」うたごえ運動が、レッスン、コンサートの縮小・延期等、コロナ禍で危機的状況にありました。命の大切さ、文化の大切さ、文化があるから人間は生きられる。未来への希望を持って生きていこう。歌うことが自らの元気のもとになり、仲間の励ましになることを、再確認しよう！コロナに負けず、うたごえの合唱活動に元気を出して意欲的に進めていきましょう！



- ①今後も、昴がコロナ感染者を出さずに団活動を進めるために、コロナ対策を油断せず実施していきましょう。3密を避ける。消毒やマスクの着用等。また免疫力を高める生活を心がけましょう！

② 13回コンサートを団員一丸となって成功させよう！

2022年4月23日(土)豊中文化芸術センターで開催決定。「春を呼ぶうたごえ、生きる歓びをうたおう！」のテーマで、選曲も変更した。命の大切さをうたうコンサートへ、チラシも早急に作成し、宣伝して、1200名の会場を満たし、団財政の根幹であるコンサート収入を確保しよう！充実したレッスンで企画に自信を持ち、組織(団員)拡大にもつなげていけるよう、団員一丸となってコンサートを成功させましょう。

なお、13回コンサートのチケット代は、会場費との兼ね合いで1980円とします。

③ 定例レッスン・パートレッスン・声楽教室を最大限の努力で取り組みましょう！

コロナ禍でのレッスン不足で、曲の仕上がりも遅くなり、歌手にとっても、聴衆にとっても昂の合唱の魅力は半減します。魅力ある昂の合唱・コンサートを成功させるために、定例レッスン、パートレッスン、声楽教室へ、最大限の努力を惜しまず、休まないように努めましょう！休みがちな団員への連絡等、パートリーダー・マネージャーを中心に、日常的な団員の交流に努めましょう。

④ 団員拡大は団の命、自然現象を止めるために、声掛け等拡大の努力を！コンサートや歌う会の開催と団員拡大をつなげて、どう取り組んでいくか？

⑤ 「友の会」会員募集の取り組みをやっていこう！

計画が遅れましたが、「13回コンサートで、友の会会員を募集」の予定で準備していきます。

⑥ 「広島のうたごえ祭典」への参加をめざし、日頃の成果を発揮しよう！

「広島祭典」への参加が決まり、その準備にとりかかっています。多くの団員の参加が望まれます。3日間のハードなスケジュールです。体調と相談の上、万全のコロナ対策をして、合唱発表会や祭典に取り組みたいと思います。

⑦ 団内コンサートが開催決定しました。声楽や個人レッスンの成果を発表しましょう。

⑧ 「うたごえ新聞」の拡大に努めましょう！

⑨ 「歌う会」活動に取り組もう！コロナ終息時には企画したい。昂と共にいつでも楽しく歌おう！
団員募集・友の会募集と結びつけて。

○各部からの報告を、技術部、組織部、広報部の各部長が行いました。

技術部 伊藤部長

- ・13回コンサート企画案(別紙)は2022年4月23日開催で作成した。皆様のご意見をいただきたい。
- ・13回コンサートの実施に向けて、強化レッスン日の提案をしたい。各月1、2回の予定を「特別レッスン候補日」として設定した。皆様のご意見を確認したい。
特別レッスンを予定しても、参加する人が増えなければ設定する効果は半減する。皆様のご意見を聞きたい。

組織部 岡邑部長

- ・組織部の役割には、団員の在籍状況、入団者・退団者(逝去者含む)・休団者等、組織の現状を調査。定例レッスン参加状況、コンサート等の開催・出席状況等団員の活動状況の把握に努めている。
- ・2020～2021年の定例レッスン出席率は不明。(半数参加のレッスンもあり、正確な計算不可)
- ・コンサート時点では14名が80歳以上のシニア合唱団。
- ・休団者(休団することを言わずに、長期で休まれている方を含めて)現在14名
- ・定例レッスンやパートレッスンへの参加に向けて、参加者を増やすために、パートリーダー・パートマネージャと共に、パートとしての連絡を密にしていく。パートごとに会議を持つことも必要か？
- ・「友の会」会員の募集にとりくみたい。13回コンサート開催時に募集をかけたい。
- ・「日曜団員」は14回コンサートの企画が決まって、練習曲、練習日を決めてから募集をしたい。

広報部 吉川部長

- ・ 昴の団員・関係者への情報連絡・報告としての「昴ニュース」「レッスン他行事予定表」の作成を主たる広報部の任務としている。スマホ・PCでの昴ホームページの閲覧が可能であり、昴の対外的な情報発信を積極的に行っている。昴ニュースや昴ホームページの更新など、今後メール、ワープロのスキルをお持ちの方の積極的な参加をお願いしたい。

その他

ホームページの管理者としての伊藤さんより以下の要望がありました。

- ・ 昴のホームページの記事・項目には、更新をせず、古いままのデータがいくつか掲載されている（一例として、プロフィールなど）。ホームページを一度見ていただいて、古い物の更新に協力いただきたい。

立川事務局長より

- ・ 「会則」の変更に関して、コロナの関係で、この間、3役会議などの開催を頻繁に行った。3役会議等の会則への明文化の必要性等、会則変更について、LINE上で、運営委員会での意見交換を行い、検討した。しかし、今回は、変更の必要性なしの意見が多く、現状のままとします。

○休憩後、今までの「報告」に関連して、意見・討議が行われました。

(1)「2021年の活動方針」の「団員拡大」に関連して、コンサート・ミニコンサート・うたう会等について川妻さんより意見があり、賛成の意見が、5名の団員から出されました。

①団員拡大について、より補強する方向について、みんなが取り組める組織的なあるいは計画的な活動が必要だと思う。入団者が増えないのは、やはり、圧倒的に昴をアピールする機会が少ないからだと思う。特に一般の人が昴に出会えるのはコンサートだけ。

それはコンサート当日だけではなくて、実はチケット売りからはじまって、そのたくさんの人にコンサートについて直接しゃべることが、勧誘の活動でもあると思う。

例えば2年計画で考えるということで、「コンサートとミニコンサート」を1年おきに繰り返す。2年目の「ミニコンサート」の曲は「次のコンサート」の曲を歌う。

「うたごえ喫茶」はコンサートの前後で定期的にする。3ヶ月単位ぐらいで喫茶とかを開くことで、年間を通して3、4ヶ月に一回はなんらかの形で、昴ファンの人（「友の会会員」や「日曜団員」を含めて）に集まってもらう会が出来る。そういうことをすることで、いろんな人としゃべることが出来る機会が増えるし、それを機会に入団者が増える。検討していただきたい。

②いろいろな形のコンサート・ミニコンサート・うたう会等を、できる範囲で行い、昴と昴ファンの人々との触れ合う機会を増やし、団員拡大につなげよう!という意見に賛成の意見が出された。技術部・組織部を中心に、計画の具体化を検討してもらうこと。

③提案のあったミニコンサートのこと、「歌う会」の方を定期的にするべきである。お客さんの方は、この日に行ったらやっている。定期的な会をやっていたらチラシを見なくても来てくれる。そういう風土があった方がいいのではないかと思う。検討して欲しい。合唱団コスモスの「5の土」は定着した「うたう会」の好例といえる。

議長より、「団員拡大に関連して、議論され、いくつかの具体的な提案があったこと、機会があるごとに団員拡大してゆくことと、演奏会等を増やしてゆくことで、具体化を図っていこう」とのまとめの提案で、検討を進めていくことになりました。

(2)技術部報告に関連して、「コンサート企画」について

技術部が提案し、現在レッスンを進めている、「2022/4/23用 第13回コン企画」（ニュース765号9p別表）について、曲目の配置の順番の再検討を希望する意見が出ました。（「死んだ男」と「いのちの歌」「昴」等）

- ・ また、チラシの中、20周年という文言をチラシに入れたい。ないと寂しい。20周年+2と右肩にプラスツーを小さく書いて入れたいが、いかがか？
- ・ コンサー全体はできるだけ短い方がいい、2時間を超えるのは聞く方がしんどい。一つの案とし

- て、2回取っている休憩は15分ずつを、1回20分でいいのではないかと？
- ・曲順などこの場で決定できないと思いますので、各部会で検討して結論づけていただきたい。

・曲順についての指揮者・本並先生からの詳細な説明があり、技術部会で再検討し、決めたという意見が出されました。

- 「曲順等の現時点での決定に関しては、
- ①指揮者が2人、伴奏者が2人、それにスーホの楽団もあるのでそれらを考慮しなければならない。かみ合いをいろいろと考えてこうなった。
 - ②いのちの歌から3曲は伊藤さんが指揮をすること
 - ③いのちの歌にスーホ楽団の笛をオブリガードを入れるので。当初友の会も入れることとしていたので、「死んだ男」で切って、その次から昴で生まれた創作曲でまとめる。ここでうまく終了させることができるか不安。
 - ④今後 技術部会で検討して、これと違った考えで、組み替えることは可能だと思うので検討してみたい。」



(3) 組織部報告に関連して、休団者への対応を検討することについて、意見が出ました。

・「休団」とは？
休団中ですが、休団という立場を明確にさせていただきたい。休団費という500円を月々払っているが、その性格を教えてください。

・休団者の扱いの団員からは、休団者の団費を集めている。このところ休団者が増えている。

休団者にどう対応するか？今日決められないなら、運営委員会で検討していただきたい。

- ・休団者の方々は今のところは「昴ニュース」を見ているという認識です。休団者を今のままにしておいていいのかということは、この状況が、休団者にとってよろしくないのであれば、改めてパート毎で話し合っ解決するか、きちっと運営委員会で議論して、休団者に連絡することの方法を決めて対応していくことが必要と思う。
- ・休団者には全員「昴ニュース」は送られていると思っていました。せっかく苦勞して作っていただいているのに、それをもちろんメール配信では送られていると思いますが、メール受信できない人には郵送されるはずではなかったですか？是非実現してほしいと思います。
- ・吉田財政部長より、
 - ・休団費について、「昴」であったことを、新しい楽譜やニュースなどを郵送する費用として500円とし、昴に席を置く代金も含めている。
 - ・財政部としては、コロナのために参加できない方は、休団とは認めていない。「休団します」と申し出てくれた方についてのみ、休団者としています。休団者の対応の問題を検討する必要があります。

(4) その他

- ・ホームページの団員専用コラムへのログインで、パスワードがOKなのに、開かない。解決したいので、善処してほしい。

○会計報告等について

(1) 吉田財政部長より、20回総会以降(2020年7月~2021年6月)の財政報告が行われ、鈴木会計監査から監査報告が行われました。

会計報告では、全体的にはコロナの関係で活動は縮小し、収支の状況は厳しい。

前期繰越金63万円であったが、次期繰越金は、コンサートができなかったことやコロナで休団者が多い等のため、9万円と厳しい。

監査報告について

21年8月22日、ねむかホールにて監査を実施した。

- ・監査の期間は、20年7月1日から、21年6月30日。
- ・資料として、収入の部、支出の部に記載された物、財政収支報告等を基にして、財政部長よりの説明を聞き、記帳などにミスなく、間違いなく記載されていることを確認しました。

(2) 昇財政の特別強化募金の訴えについて

引き続き、吉田部長より、予算案資料に基づき、「次年度の予算案と見通しについて」(一部修正10/19参照)の説明があり、特別強化募金の訴え等の説明がありました。



①十年ほど前、財政が緊迫したときに皆さんに募金を1口5千円の募金をお願いし、団費を3千円に値上げをした。今回も現在のままの状況では財政の赤字が続きます。現時点で、すでに20数万円の赤字。コンサートも来年の4月となり、やむを得ず、団員一人あたり1万円以上の特別強化募金をお願いしたい。

団費の3千円だけで団の財政を賄うとすれば、団員が45名から50名必要になってくる。団員が増えない中で、特別に強化募金をお願い

したい。

②訂正点は収入の関係で、来年のコンサート時点までとそれ以降、期末までを分けて予算化しています。コンサートまでの収支がマイナス47万、それ以降マイナス15万、コンサートの収入がいくらになるかによって650名入場で32万、期末のマイナス31万となります。コンサートで1000人入場した場合は、収入が90万になり、期末で26万の黒字になる。

しかし、僅かな黒字では来期の団の活動ができない。今まで、団の財政は、団費とコンサートの費用等々で年間50万くらいの赤字で来ている。

この予算で行くと、1000人の集客の時で30万くらいの赤字になるということで、賄いきれないので、皆さんの1万円の募金をお願いしたい。

1万円以上と言うことで、皆さんで30数万円集まれば、今期末でプラス50数万の収支になります。

- ・来期、また新たにコンサート等、来期の活動ができるだろうと言うことで、この予算案を提起し、皆さんに1万円以上の強化募金をお願いしたいということが財政としての訴えになるわけです。

③「大うた分担金」については、今年の大うた総会で決まった「団員一人あたり月1000円の分担金」をお願いしたい。他の団で分担していれば、昇で要らない。今までの夏冬の募金要請はなくなる。

今期は2021年3月~10月までの1,000円を払う。来期からは半期毎に払う。

第一回は2022年1月に、今期の1年分1,000円を集めたい。

○財政に関する質疑応答がありました。

議長より、財政部長の提案について、了承するかどうか、意見が求められました。

財政部長から「会費は絶対です。募金は、ほとんどできる限りということで、絶対ではありません。どうしても経済的にできない方のことを考える必要があります。絶対とすると「もうやめます」となるとは困りますので、絶対ではありません。あくまで自主的にお願いするということ。」との補足説明があった。

岡邑さんから

財政の逼迫は、団員が減ってるということが第一の原因ではないか。すぐに増やせないのであれば、25人の団費で賄うことを考える必要があるのでは。ここではそんな討議はできないので、運営委員会その他の会議で、一つ一つ財政の問題を討議してゆくことが必要ではないでしょうか？

財政部長

団費の収入に関して休団者によっては、団費の収入の中で1500円とか、2000円という人もある。休団の中でも、月1回の参加、1回プラスαということで相談して決めている。休団とは？どう規定しているのか、それぞれ、わたしがその理由に応じて決めているのが現状です。

中谷さん

- ・団費が2000円とか1500円というのがどういうことか、初めて分かりました。こういう制度は団創立以来なのですか？このままにするのかお聞きしたい。このままだと制度が複雑になるので疑問に思います。
- ・「強化募金の訴え」は、団の窮状を考えれば、臨時のこととして「致し方なし」と思います。只、いろいろな事情の団員がおられると思います。できればコロナの中での臨時的な措置と思いますので、何らかの団員への現状の訴えか、カンパの訴えを、団長名か、運営委員会名で出される必要があるのではないかと。

財政部長

- ・2000円とか1500円という団費は、会則の中に、個人的な理由に応じて決めることができるとなっています。
- ・カンパの訴えは、総会に出席されている方には、この総会でお伝えしている。休団者やレッスンに参加できていない方へは、すでに財政部長と団長の連名で団費の納入状況と、財政の窮状を訴え、カンパをお願いする文書を郵送している。振込用紙をつけて送っております。尚、自分で自覚的に団費を滞納していることが分かる様に、しかし何ヶ月分を納入してくれとは書かずに、本人の自覚にお任せしています。

○討議のまとめを山本副団長からおこないました。

- ・コンサートの内容についていくつかの意見がありました。今後も技術部会で詳細を詰めてゆきたいと思っております。さらなるご意見をいただければ幸いです。
- ・財政問題について、コロナ禍で、コンサートができない状況で、赤字が広がっていくことを、真剣に皆さん考えていただくと同時に、休団者だけでなく全団員向けにきちっとした依頼の文書を団長名ないしは運営委員会名で出していただきたい。
- ・休団の取り扱いについて、厳しいご意見をいただきました。自粛されている人も含めて、運営委員会において、その対応について整理をし直して密に連絡してゆけたらと思います。特にその際に各パートマネージャーに各パートの対応にご尽力いただければと思います。

○採決・承認について、議長から

- ①「活動報告の承認と2021年度活動方針の採択」に、賛同の挙手をもとめ、賛成多数で承認しました。
- ②財政報告の承認について、賛同の挙手をもとめ、賛成多数で承認しました。

最後に、立川事務局長より、「次期役員体制の提案」がありました。

議案の中の「役員体制」について変更点について

- ・「役員体制」は、名誉団長からパートマネージャーまで。それ以下は「役割分担」。
 - 「副団長」に吉岡さんが新しく就任
 - 「バリトンパートマネージャー」に大橋さんが就任
 - 「会計監査」を役員体制に入れる。
- ・楽譜音源係は楽譜係と音源係に分け、吉田さんは楽譜係として独立させる
- ・プログラム・チラシ係 川妻・更家さん
- ・大阪うたごえ協議会に岡邑さんを追加

役員体制に関して、挙手での承認をもとめ、多数での承認となりました。

最後に、新副団長吉岡さんから、閉会の挨拶があり、議長退任で、総会は終了しました。

「副団長を、できるだけ頑張りたい。

今後の昂の方向について、今日いろいろ意見が出されましたが、私は、練習の充実、練習に来てよかったな、充実して歌ったなというのがまず一つ、コンサートで歌って、昂の演奏を聴いてよかったな、元気が出たな、ほっこりしたなというような、そういう「昂」を作ってゆきたいと思います。

そのために、団員を増やすこととか、演奏曲のこととか、これから細かい検討をしてゆかなければならないと思います。今後については特に新型コロナの感染を「昂」から絶対出さないという対策をきっちりやりながら、練習や、演奏会を、充実した物にしてゆきたい、そのためにみんなで頑張ってゆきましょう！」



(注)編集子より

コロナ禍の厳しい1年に耐え、昂は2021年10月23日に「2021総会」を開催し、この1年の総括と、これからの合唱活動の積極的な取組みの数々について、多くの意見を交わしました。計画の具体化に向けて、昂は動き出しました。昂ニュース765号は、「昂総会開催」号として、その詳細な内容を記事にしました。

なお、ニュースを作成するにあたって、総会書記の大役を果たされた更家さんの「男声合唱団「昂」年次総会 議事録」の多くを参考に、コピー・加工して作成しております。コピー等について更家さんの同意をいただきましたこと深謝いたします。(編集子)

2022/4/23用 第13回コン企画、10/17運営委員会へ提出版

| 曲目 | 過去コン演奏回数 | 何回目コンに? | 備考 | 予想時間 分:秒 | 左の実績 | |
|---|----------|----------------------|---|--|---|-----------------|
| 第1部 昴の演奏 | | | | | | |
| 1 日々草 | 3回 | 2,4,11 | | 03:43 | 11回コン演奏実績から | |
| 2 「春のメドレー」 | | | | | | |
| ①前奏 ビバルディ四季より | 0回 | | | 00:31 | 春のメドレー全体演奏予想時間 04:33 ロシアの歌から「鶯」を外せば、新しく練習が必要な曲は緑文字「春のメドレー・いのちの歌」の2曲のみ。'前線'は戦争・軍隊を連想させる。 | |
| 3 ②どこかで春が | 0回 | | 日本の歌 | 01:03 | | |
| 4 ③どじょっこふなっこ | 0回 | | | 00:20 | | |
| 5 ④春の小川 | 0回 | | | 00:33 | | |
| ⑨間奏挿入曲 花祭り | 0回 | | | 00:23 | | |
| 6 ⑩花の街 | 0回 | | | 00:28 | | |
| 7 ⑪春の唄 | 0回 | | | 00:21 | | |
| 8 ⑫花のまわりで | 0回 | | | 00:54 | | |
| MC1 | | | | | 02:00 | |
| 9 白樺 | 7回 | 1,2,3,4,8,9,10 | ロシアの歌 | 03:50 | 10回コン演奏実績から | |
| # 母なるボルガをくだりて | 1回 | 9 | | 04:11 | 9回コン演奏実績から | |
| MC2 | | | | 02:00 | | |
| # U Boj! | 0回 | | 世界の歌 | 03:00 | youtube演奏例より | |
| # 朝露 (フルバージョン) | 1回 | 12 | 原語歌唱 | 05:03 | 12回コン演奏実績から | |
| コロナ禍一定の鎮静化が訪れるであろう時期でもあり新春開催のコンサートに相応しく、春の息吹を感じてもらえる曲群でスタートしたい。 | | | | 合計 | 28:20 | |
| | | | | 曲間インタバル | 01:40 | 20秒×5回分 |
| | | | | 第1部合計 | 30:00 | |
| 休憩 | | | | | 15:00 | |
| 第2部 ゲスト「スーホの白い馬モンゴル楽団」演奏 | | | 合計 | 20:00 | 「飲びのナーダム」をスーホと合同演奏が可能という前提での第2部入りです。 | |
| 曲目&曲目数は未確認です。 | | | | | | |
| # 飲びのナーダム | 3回 | 8,9,11 | | 01:00 | 昴団員入場 | |
| | | | | 02:53 | 演奏実績から | |
| | | | | 合計 | 23:53 | |
| 友の会は、13回コンから募集するため、友の会会員の出演は、14回コン以後となる。 | | | | 休憩 | | 15:00 |
| | | | | 「いのちの歌」演奏、スーホメンバーにフルートパートの演奏加入を依頼予定。そのため、第3部冒頭に演奏する提案です。 | | 第3部 昴の演奏 |
| # いのちの歌 | 0回 | | 「命」にか らむ3曲を 歌い継ぐ | | | 04:17 |
| MC3 | | | | 02:00 | | |
| # ゆらゆら春(奥村ソロ千秋がリードと合唱) | 3回 | 8,9,10 | | 05:16 | 10回コン演奏実績から | |
| # 死んだ男の残したものは | 6回 | 3,4,5,7,9,10 | | 05:00 | 10回コン演奏実績から | |
| MC4 | | | | 02:00 | | |
| BGMと語り | 0回 | | 昴生まれの創作曲で締めくくる。アップテンポな「地雷」を挟み、メリハリをつける。 | 02:16 | 楽譜から計算 | |
| 方正はいくさを物語る 千秋独唱 | 0回 | | | 02:33 | 楽譜から計算 | |
| # 方正の青い空 | 0回 | | | 02:07 | 楽譜から計算 | |
| MC5 | | | | 02:00 | | |
| # 地雷ではなく花をください | 0回 | | | 02:30 | 楽譜から計算 | |
| # 昴はうたう | 0回 | (4手の連弾) | | 02:00 | 楽譜から計算 | |
| 団長挨拶 (アンコール) | | | | 02:00 | | |
| (アンコール曲1)I've got six pence | 7回 | 1,2,4,6,9,10,11 | | 02:12 | 11回コン演奏実績から | |
| # (アンコール曲2)「昴」(谷村新司)短縮ver. | 9回 | 1,2,3,4,5,9,10,11,12 | | 03:08 | 12回コン演奏実績から | |
| | | | | 合計 | 37:07 | |
| | | | | 曲間インタバル | 02:20 | |
| | | | | 第2部合計 | 39:27 | |

コンサート開始から終了迄の総合計予想時間 = 1:59:27

昴団員が歌唱する曲全部の演奏時間の合計タイム = 0:48:23